

どの命も尊いんだよ

中学校

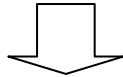
目的 自分の命が、かけがえのないものであることを知るとともに、自らの生き方を見つめ、自他の命を大切にできる実践的態度を養う。

気づく

自分の誕生や成長について知ろう

生徒が保護者に自分の「誕生・成長についての思い出」を聞き取る。学級で紹介してもよい「生まれた頃の自分の写真」を用意する。

小学校での学習との関連
全員の生徒が写真やエピソードを発表できる状況にあるか配慮をする。配慮を要する場合は担任の写真やエピソードを紹介してもよい。

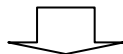


深める

学級で、自分の乳幼児の頃のことを紹介しよう

どの命も望まれて誕生した命であることや、かけがえのない命であることに気づく。

幼児との触れ合いやかかわり方についての技術・家庭科の学習
保護者との関係に配慮を要する生徒がいる場合は、特に丁寧に取り組む。

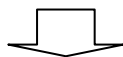


広げる

保育体験に行こう

保育士（教諭）の指示に従い、保育士（教諭）とともに幼児と一緒に遊ぶ中で幼児への関心を高める。

1学期に行う。保育士（教諭）と十分に打ち合わせをする。

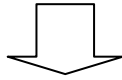


計画する

保育実習に向けて計画を立てよう

保育体験を振り返り、「自分たちで立てた計画」に基づいて保育に取り組むために、幼児向けの「遊びの計画」や「おもちゃ作り」をする。

1回目と同じクラスで実習を行うことから、幼児の姿を思い浮かべながら夏休みに計画する。

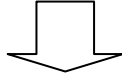


実践する

保育実習に行こう

幼児の遊びや生活・成長について理解を深め、幼児とのかかわり方を工夫する。

2学期に行う。
保育士(教諭)と十分に打ち合わせする。

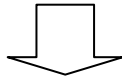


振り返る

保育実習を振り返ろう

保育実習を終えて学んだことや感じたことをまとめる。
幼児の成長には、周囲の大人の愛情のあるかかわりが不可欠であることを実感する。

成長した自分自身が在るのも、周囲の大人が愛情を持って育ててくれた結果であることに気づかせたい。

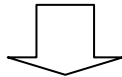


計画する・実践する

保育実習発表会をしよう

発表会の準備をする。
・模造紙 ・写真 ・プレゼンテーション
保護者やできれば保育士(教諭)にも参加してもらい発表会を行う。
保護者からも生徒へのメッセージを発表してもらおう。
・自分の命・周囲の人の命を大切にするために、自らの生き方を考える。

学年保護者会とも連携する。
感謝の気持ちや感じたことを素直に表現する。



振り返る

お礼の手紙を書こう

実習した園・所へお礼の手紙を書く。また、幼児にも、メッセージカード等をつくる。
保護者への手紙を書く。